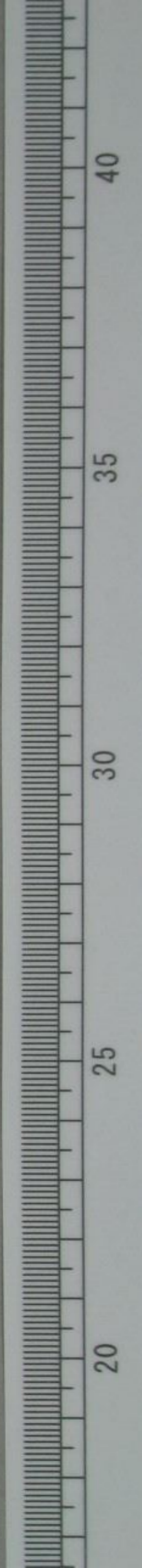




名^な古^こ屋^や於^お妃^ひ
全

109

逍遙文庫
文庫6
1330



吉北地^ちり名^な高^{たか}に神^{かみ}社^{しゃ}佛^{ぶつ}閣^{かく}の母^{はは}を
いへふ光^{ひかり}景^{かげ}を^を図^ず一^{いつ}巻^{まき}に終^はる^るへ^へす
當時^{たうじ}風^{かぜ}流^{りゅう}家^かの狂^{きやう}詠^{えい}を載^のて一^{いつ}冊^{さく}
忠^{ちゆう}草^{そう}紙^しと^とす^す一^{いつ}旦^{たん}婦^ふ初^{はつ}乃^のと^とてあ
や^あふ^ふと^とす^すが^が先^{まへ}た^たま^まに^にば^ば婦^ふ人^{にん}
乃^の圖^ずを^をり^り急^{いそ}ぐ^ぐに^にす^す那^な古^こ野^の於^おに^に祀^{まつ}
と題^{だい}を^をふ^ふ小^こ南^{なん}と^とす

玉齋笑馬誌



十日夷子

秋津

大君乃侍代さうえん

初老の壽

笹子

小判のさうえん

花さく





夜子山
 亞紅
 一年新日
 一と勢と
 挑燈乃
 三百六十余
 夜子山



矢場
鬼乳
極楽の
的々矢場
乃守緒
弓とさし
老もあ
る



月



古儀

秋は

古儀

まわりの

肩をよせ

わらまの

中くちの

あそび

明

三

清茶行

下



清茶屋
鬼ヶ子
湯ヶ子
湯ヶ子
湯ヶ子
湯ヶ子
湯ヶ子
湯ヶ子
湯ヶ子
湯ヶ子

刊



五

年々

少女

古くは古くありては神宿
又けり春を新馬路町

二時亭園工
玉齋清画



願主 玉草堂

點竈指南錄 全五冊

此點竈法は云々八日用の美法お場割利足美求積田畑取固
 等の諸筆法より起て天元演段諸約翦管招差趕越角術
 圓理弧背おれ漆術小いさる此法よりさる事なり能合
 得たる時をたさるハ節用より玉篇をさる懐中しそむか如し
 是用小條が、糸除の業をさる時ハ此法小仍て其術原を採り
 ときハ速小本術をほりあり初學の爲に古今は筆頭を集め
 類ごとく本術を施し別は點竈法小仍て其術原を採り
 其用法をさる也

尾州名古屋大曾根
 松屋平兵衛板

早稲田大学図書館

011688993794



那古屋於妃
玉齋笑馬画